

イクボス～組織が元気になる働きかけ 自分も周りも大切に～

【講師紹介】三上 友子さん

株式会社I・M・S 代表取締役。株式会社I・M・S で就職支援セミナー講師や講師派遣業務を務める他、弘前市母子寡婦福祉会副会長副会長、一般社団法人ひろさきキャリア形成支援協会代表理事、NPO法人マザーフィールド理事など、多岐にわたり活躍。平成29年度のおもりウィメンズアカデミー働く女性リーダーコースの修了生。

【講演概要】

1. イクボスとは・・・「職場で共に働く部下・スタッフのワークライフバランス（仕事と生活の両立）を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しめる上司（経営者・管理職）のこと」

- ① 部下のやる気を高める
- ② 部下の能力を高める
- ③ チーム力を高める
- ④ 部下の私生活とキャリアを応援している
- ⑤ 組織の目標（利益等）を達成している
- ⑥ 自らワーク・ライフ・バランスを実践している

2. なぜイクボスが注目されている？

- ① 育児休業・休暇を取りにくい現状
- ② 若手人材の減少
- ③ 管理職の負担軽減

3. イクボスをする事で得られるメリット・効果

- ① エンゲージメント率の向上
- ② 採用コストの削減
- ③ 業務効率の改善

4. イクボスを導入するのに必要な3つの要素

- ① 支援制度の設計・見直し
- ② 育児休暇の普及・促進
- ③ 業務の効率アップ・業務量の調整

5. まとめ

- ・イクボスを導入する際に注意したいのが、世代間の価値観の擦り合わせ
- ・上の世代では、長時間労働を良しとする価値観で過ごしてきた人も多く、この価値観を否定せず、どうイクボスという制度に理解を示してもらえるかが、イクボス普及成功のカギ

\*\*\*\*\*受講生の感想\*\*\*\*\*

- ・日々起こる問題に対して部下のモチベーションを下げず、柔軟な対応をできるよう心がけたい。
- ・自分勝手な考えを押し付けるボスにはならないようにしたいと思った。



項目	達成状況	備考
1. 部下のやる気を高める	達成	
2. 部下の能力を高める	達成	
3. チーム力を高める	達成	
4. 部下の私生活とキャリアを応援している	達成	
5. 組織の目標（利益等）を達成している	達成	
6. 自らワーク・ライフ・バランスを実践している	達成	
7. 育児休業・休暇を取りにくい現状	達成	
8. 若手人材の減少	達成	
9. 管理職の負担軽減	達成	
10. エンゲージメント率の向上	達成	
11. 採用コストの削減	達成	
12. 業務効率の改善	達成	
13. 支援制度の設計・見直し	達成	
14. 育児休暇の普及・促進	達成	
15. 業務の効率アップ・業務量の調整	達成	